

[作ってみよう]

- ・ 幼児視野体験メガネ (チャイルド・ビジョン)
- ・ チャイルド・マウス

子どもの安全を守るためのポイント

①子どもの特性を知っておきましょう

- ・ ひとつのものに注意が向くと、周りのものが目に入らなくなります。
- ・ 物ごとを単純にしか理解できず、その時々気分によって行動が変わります。
- ・ 「危ない」とか「注意しなさい」という抽象的な言葉では理解できません。
- ・ 場面に応じた行動ができません。
- ・ 大人がそばにいと、それに頼る気持ちが強くなります。
- ・ 子どもは大人に比べて、1/2 程度の視界しかありません。

②子どもへの教え方

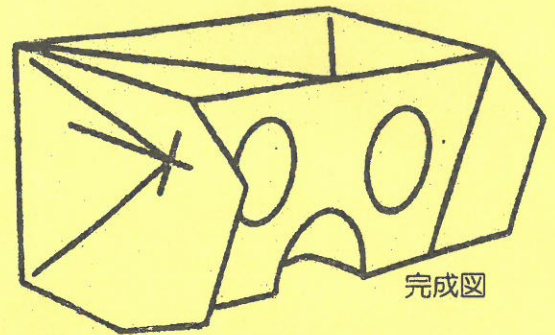
- ・ 言葉で教えるだけでなく、具体的に教えましょう。
- ・ 何度も繰り返して教えましょう。

幼児視野体験メガネの使い方

視野の狭い幼児の世界を体験しましょう。

※視野・・・両眼を正面に固定して見える範囲のこと

- ①幼児視野体験メガネを組み立てましょう。
- ②家の中などで、幼児の目の高さになって使用します。



チャイルド・マウスの使い方

この直径 39mm は、子どもの口の大きさです。

これを通る大きさのものは、誤飲のおそれがあります。

意外に大きなものでも、子どもの口に入ってしまうます。

- ①チャイルド・マウスを組み立てましょう。
- ②身のまわりの物を入れてみましょう。

